

秋田県町村会 海外研修報告

藤里町長 佐々木 文明

No. 2

◇ 8月21日 (木)

前日の朝とほぼ同様の行動となりましたが、今度はニュースが東北地方の雨の状況を報じていました。台北より南に1時間ほどの視察先に向かうバスの中で、藤里町の状況を確認するためメールをしてみたところ、雨は降ったり止んだりであり、県南に土砂災害と大雨警報が出ているとのことでした。ニュースでも筋が2本出ていて、県南と青森方面を示していたので、あまり心配することなく、午前10時に次の研修先である「新竹サイエンスパーク」に到着しました。

ここは、台湾のハイテク産業の中心で1980年12月の設立以降、国内経済の発展を牽引し、世界的に有名な経済の奇跡を作り上げてきました。元々は農業地帯であったところを切り開き、設立以来、台湾全土に13か所の園區を構築するまでになったとのことでした。

数々の税金面での優遇措置のほかに、パーク内の土地は全て国有地で中枢を担



新竹サイエンスパーク

う管理局は行政機能を提供するための国の省庁機能を有しています。そのため、通常3か月程かかる許認可事務等が、ここでは2週間程でできるほか、ここに所属するハイテク関連産業に必要な関連産業も全て集積しており、ここで完結できるシステムとなっています。

つい数年前に予告なしの停電に見舞われて創業がストップした際（現在はこのエリアの停電は解消されている）には、世界の株価が一斉に値下がりしたほどの影響を持つ場所と認識されているようで、世界で成功したサイエンスパークの典型とされています。

しかし問題なのは、以前にもニュース等で流れたとのことでしたが、中国本土からのヘッドハンティングが後を絶たず、一業種の関係者50人以上が全てハンティングされたこともあるとのこと、かなり警戒しているようでした。

また、エリア全体も手狭となってしまうが、地価が20倍も上がってしまった関係もあり、広げることが困難であるとのことでした。

視察後、台北まで戻り、茶葉料理で昼食を終えた後、予定にはなかったのですが、希望が多かった台北101を見学することになりました。

高さが508m、世界最速と言われるエレベーターは分速1010mを記録し、現在もギネスに載っているとのこと。地上88階には塔の揺れを防ぐ直径5・5m、660tのダンパーが金色に輝いており、外観は箭をモチーフにした四角柱で、ニューイヤール花火が有名です。



台北101

バスで40分程北東部へ移動後、午後4時から九份を散策しました。参加者の平均年齢が比較的高かったこともあり、ガイドさんが下りの散策コースを選んでくれました。ここは1890年の金鉱の発見でゴールドラッシュに沸いた面影が残る町で、宮崎駿作の「千と千尋の神隠し」の家並みモデルとなったところと言われています（日本でも道後温泉や長野県にある温泉宿もモデルになったと言われている）。かなり、真偽のほどは不明です。かなり階段を下りたあたりに病院跡地があり、ガイドさんの話によると、ここは日本

歌手として活躍する一青窈さんの父方の一族が設立した病院であるとのこと、九份一帯の土地の約6割がこの一族の所有であるとのことでした。まさにレトロな雰囲気と漂わせ、出店もエネルギー感の中にも妖艶な雰囲気をかもし出す中の別世界のような散策でした。



九份

夕食は日本料理レストランで、JTB台湾支店長・林田充氏と日台双方方向の交流ができないか、など意見交換をしながらの食事となりました。そして、ホテルに戻り広島の被害が意外に甚大なニュースを見ながら、3日目の日程が終了となり、同時に台北の最後の夜が更けていきました。

◇ 8月22日 (金)

午前7時20分にホテルを出発するというところで、早めの朝食と宿舍移動のための荷物預け作業で慌ただしい朝となりました。台北発午前8時の新幹線で台中まで1時間弱。バスに乗り換えてさらに40分程で午前10時過ぎに視察先である傑農合作農場に到着しました。

ここは、輸出ルートの開拓のために設